

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	710	584	百日咳	1	0
RSウイルス感染症	15	15	ヘルパンギーナ	8	7
咽頭結膜熱	24	22	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	68	109
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	82	68	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	820	818	流行性角結膜炎 (はやり目)	8	5
水痘	110	114	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	1	2	無菌性髄膜炎	3	1
伝染性紅斑 (りんご病)	30	31	マイコプラズマ肺炎	0	0
突発性発しん	33	41	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- インフルエンザ
- 水痘

- 感染性胃腸炎は、報告数 820件(前週報告数 818件)と増加。地区別では、八代、宇城、人吉に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の179件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- インフルエンザは、報告数 710件(前週報告数 584件)と増加。地区別では、菊池、八代、天草に多く報告がみられる。年齢別では、10～14歳の162件を最多に、幅広い年齢層からの報告である。
- 水痘は、報告数 110件(前週報告数 114件)とやや減少。地区別では、菊池、八代、天草に報告が多くみられる。年齢別では、1歳の29件を最多に、主に7歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	287	2	12	50	253	29	1	16	11		1	28		8		3		
山鹿保健所	8				44	4			1			9	*	*				
菊池保健所	127		2	5	90	26		1	7	1	1	10						
阿蘇保健所	3			3	9	1							*	*				
御船保健所	5				12							3	*	*				
八代保健所	114		2	5	117	14			3			1						
水俣保健所	24	1	3	3	16	2			1			3	*	*				
人吉保健所	36	3	3	6	69	7		1	2			2	*	*				
有明保健所	53			3	57	11		8	3			4						
宇城保健所	32	5	2	6	71	6		4	2			8						
天草保健所	21	4		1	82	10			3		6							
計	710	15	24	82	820	110	1	30	33	1	8	68	0	8	0	3	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
インフルエンザ	710	1	7	25	17	40	39	64	69	63	55	63	162	24	17	27	10	10	9	5	3
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	15	6	5	4																	
咽頭結膜熱	24		3	7	3	5	4	1	1												
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	82			5	7	5	6	14	12	8	4	7	10		4						
感染性胃腸炎	820	14	53	179	112	87	68	49	64	30	36	20	49	6	53						
水痘	110	5	2	29	17	19	17	14	4	2			1								
手足口病	1				1																
伝染性紅斑	30		1		1	3	7	3	6	4	3	2									
突発性発しん	33	1	14	17			1														
百日咳	1													1							
ヘルパンギーナ	8		1	4	1			1	1												
流行性耳下腺炎	68			4	7	11	15	14	5	2	3	1	4		2						
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	8								1					1	1	3	1				1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	3		2	1																	
マイコプラズマ肺炎	0																				
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- インフルエンザ : 八代
- 流行性耳下腺炎 : 宇城
- 感染性胃腸炎 : 山鹿・菊池・八代・人吉・宇城・天草
- 伝染性紅斑 : 宇城

感染性胃腸炎

今週の感染性胃腸炎の報告数は820件と、先週とほぼ同じくらいですが、6週連続で増加しています。医療機関から提供された病原体検査情報では、ロタウイルスによるものが多くなっています。冬場に流行するノロウイルス同様、ロタウイルスも感染力がきわめて強く、注意が必要です。調理や食事の前、トイレの後などの手洗いをしっかり行い、予防に努めましょう。

インフルエンザ



インフルエンザ報告数は、2週続けて増加しています。熊本、菊池、八代、水俣、人吉、有明、宇城の7地域では、先週より報告数が増えています。熊本、菊池地域が注意報レベル、八代地域は未だ警報レベルにあります。なお、迅速キットによる診断情報は、A型:157件、B型:533件、型不明:1件、合計691件でした。今後も発生状況に注意し、手洗い・うがいの励行、咳エチケットを守る等、感染防止に努めましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. Televitan

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課